



2025年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2025年5月14日

上場会社名 株式会社 安楽亭
コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 先

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 次長 (氏名) 町田 英之

TEL 048-859-0555

定時株主総会開催予定日 2025年6月27日

配当支払開始予定日

2025年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2025年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	30,353	0.3	1,459	0.3	1,373	5.1	589	39.1
2024年3月期	30,260	5.9	1,464		1,307	426.7	967	

(注) 包括利益 2025年3月期 591百万円 (40.9%) 2024年3月期 1,001百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	255.32		8.3	5.9	4.8
2024年3月期	434.56		16.9	6.2	4.8

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 百万円 2024年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	24,253	7,427	30.6	3,216.36
2024年3月期	22,232	6,836	30.7	2,960.40

(参考) 自己資本 2025年3月期 7,427百万円 2024年3月期 6,836百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	1,300	298	1,228	7,190
2024年3月期	2,491	661	735	4,959

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期		0.00		0.00	0.00			
2025年3月期		0.00		30.00	30.00	69	11.7	1.0
2026年3月期(予想)		0.00		15.00	15.00		8.7	

(注) 2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行うことが予定されており、2026年3月31日を基準日とする2026年3月期の期末配当は、当該株式分割を反映した株式数を基準としております。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,011	0.2	591	21.0	547	24.0	363	31.1	78.60
通期	30,248	0.3	1,287	11.8	1,200	12.6	793	34.6	171.70

(注)2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行うことが予定されており、2026年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期	2,311,434 株	2024年3月期	2,311,434 株
期末自己株式数	2025年3月期	2,217 株	2024年3月期	2,126 株
期中平均株式数	2025年3月期	2,309,293 株	2024年3月期	2,226,593 株

(参考)個別業績の概要

2025年3月期の個別業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	10,988	1.6	300	127.5	655	26.9	308	538.6
2024年3月期	11,170	1.4	132		516		48	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	133.51	
2024年3月期	21.69	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2025年3月期	11,585		5,271		45.5		2,283.01	
2024年3月期	11,726		4,960		42.3		2,147.85	

(参考) 自己資本 2025年3月期 5,271百万円 2024年3月期 4,960百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行うことが予定されており、当該株式分割を反映した期中平均株式数を基に1株当たり(予想)当期純利益を算定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年5月23日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報の注記)	16
(重要な後発事象の注記)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、堅調な企業収益を背景に所得環境改善等の回復基調が見られたものの、不安定な国際情勢のなか円安や物価上昇が続いたうえ、米国の政策動向による懸念等も重なり、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

外食産業におきましても、物価高が沈静化する兆しが見えないなか消費者の節約意識は一層強まり、また、原材料価格やエネルギーコストの高騰、人手不足及び人件費上昇等により厳しい経営環境が継続しました。

このような環境において、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった「自然肉100%」の商品提供を堅持するとともに、さらなる品質向上のため、日々努力を続けてまいりました。コロナ禍を経て、そして長期化する物価高の影響で消費者の意識・行動が大きく変化しているなか、お客様に選んでいただける価値ある店づくりのため、新商品開発や既存メニューのブラッシュアップ、DX推進等の取り組みに注力しました。

店舗戦略としては、引き続きグループ内での業態の見直しによる活性化を進めたほか（3店舗にて業態転換実施）、新たな外食体験価値を創り出すための店舗内外装リニューアルを計画的に行いました。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高303億53百万円（対前年同期比0.3%増）、営業利益14億59百万円（対前年同期比0.3%減）、経常利益13億73百万円（対前年同期比5.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益5億89百万円（対前年同期比39.1%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭・七輪房業態

安楽亭・七輪房業態の当連結累計会計年度末の店舗数は165店舗であります。内訳は直営118店舗、暖簾10店舗、FC37店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「安楽亭」では、毎月29日の肉の日に合わせて実施する「肉の日キャンペーン」の定例化や、人気のワンコイン丼に焼肉1皿を組み合わせた「肉丼&焼肉ランチセット」の販売等、お得な価格で日常的に焼肉をお楽しみいただける施策を積極的に展開し、集客力の向上を図りました。また、創業以来の名物メニュー「ユッケジャンスープ」が「第77回回ジャパン・フード・セレクション/スペシャリティ部門」にて最高位のグランプリを受賞したことを記念し、ユッケジャンスープ付きのランチメニューの100円OFFキャンペーン等を実施しました。

「七輪房」においては、日本各地の銘柄和牛を期間限定で提供する企画を実施してブランド価値の向上に努めたほか、毎月の「肉の日キャンペーン」、焼肉食べ放題や生ビールの割引クーポン配信等、積極的に集客施策を展開しました。

以上の結果、安楽亭・七輪房業態の当連結会計年度の売上高は113億60百万円（対前年同期比6.7%減）となり、セグメント利益（営業利益）は4億63百万円（対前年同期比42.4%増）となりました。

② アークミール業態

アークミール業態の当連結累計会計年度末の店舗数は131店舗であります。内訳は直営129店舗、FC2店舗であります。アークミール業態には、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス（ステーキ）」を含んでおります。

販売促進及び商品開発につきましては、ステーキのどんでは、ステーキ、ハンバーグメニューに加え、バラエティ豊かなチキンのメニューを揃えた新ランチメニュー「ごはんどろぼうなランチ」シリーズの販売を開始、しゃぶしゃぶどん亭では、回復傾向が見られる宴会需要に応えるべく、お得な「食べ放題・飲み放題プラン」や「学割キャンペーン」等を実施しました。また、フォルクスでは、「レモンバターソース香るラウンドステーキ」「ビーフ&シーフードフェア」等、季節感やプレミアム感を打ち出した多彩なメニュー企画を展開しました。

また、DX推進の取り組みとして、各業態にてテーブルオーダータブレット導入を進めたほか、しゃぶしゃぶどん亭の店舗では配膳ロボットの導入も順次開始し、お客様サービスの向上とオペレーション効率化を図っております。

以上の結果、アークミール業態の当連結会計年度の売上高は185億59百万円（対前年同期比5.5%増）となり、セグメント利益（営業利益）は13億70百万円（対前年同期比12.9%減）となりました。

④ その他業態

その他業態の当連結累計会計年度末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営7店舗、FC2店舗であります。なお、その他業態には、「からくに屋(焼肉)」、「花炎亭(焼肉)」、「上海菜館(中華)」、「カフェビーンズ(喫茶)」、「安楽亭ベトナム(焼肉)」を含んでおります。なお、安楽亭ベトナムでは、2024年12月にホーチミン市内にて新店舗「PARC MALL 店」をオープンし、現在3店舗体制にて展開しております。

その他業態の当連結会計年度の売上高は4億33百万円(対前年同期比13.8%減)となり、セグメント損失(営業損失)は3百万円(前年同期はセグメント損失24百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末に比べ20億21百万円増加し、242億53百万円となりました。これは、現金及び預金が増加したこと等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ14億30百万円増加し、168億26百万円となりました。これは、借入金の増加等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ5億90百万円増加し、74億27百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等が要因です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は71億90百万円と、前年同期と比べ22億30百万円(対前年同期比45.0%)の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の計上9億90百万円、減価償却費の計上7億89百万円等により13億円の収入となりました。前年同期は24億91百万円の収入であり、前年同期と比べて11億91百万円の収入の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出4億96百万円、無形固定資産の取得による支出1億25百万円、定期預金の払戻による収入2億4百万円等により2億98百万円の支出となりました。前年同期は6億61百万円の支出であり、前年同期と比べて3億62百万円の支出の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入31億円、長期借入金の返済による支出17億18百万円、割賦債務の返済による支出3億18百万円等により12億28百万円の収入となりました。前年同期は7億35百万円の収入であり、前年同期と比べて4億93百万円の収入の増加となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率(%)	18.7	22.4	23.0	30.7	30.6
時価ベースの自己資本比率(%)	44.9	62.2	75.6	72.9	66.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	19.8	△10.0	15.8	4.1	9.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	5.5	△9.8	5.4	20.6	9.0

(注) 1. 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

3. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

4. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。

有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ウクライナや中東地域等の紛争、米国の通商政策動向による混乱等、不安定な国際情勢が続いていく見込みであり、一方国内では食肉、米、野菜等の食材や物流、エネルギー等物価の上昇が沈静する気配が見えておりません。外食事業においては、物価高の影響で消費者の外食利用控えの傾向が強まり、さらに深刻な人手不足と人件費上昇が重なり、厳しい経営環境が当面継続するものと思われま

このような状況のなかで、当社グループは、お客様に選ばれるレストランであるために、より価値ある外食体験を、コストパフォーマンスとして満足を得られる価格で提供していくことが重要ととらえ、業態のブラッシュアップや開発にさらに力を入れて取り組む方針です。長年築き上げてきた経営資源を最大限に活かしながら、新たな時代のニーズに応える商品、サービス及び店舗デザインを創出するべく、明確な目的感を持った組織構築と、それを支える多様な人材の確保と育成を進める必要があり、設備投資と人的投資を計画的に推し進めてまいります。

これらの方針のもと、「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」という経営理念の実現を目指し、役職員全員、さらなる企業価値向上に向け邁進してまいります。

通期の連結業績見通しにつきましては、売上高302億48百万円、営業利益12億87百万円、経常利益12億円、親会社株主に帰属する当期純利益7億93百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,165,640	7,191,117
売掛金	1,469,292	1,382,581
商品及び製品	601,254	752,787
仕掛品	8,448	8,472
原材料及び貯蔵品	744,389	964,971
前払費用	321,065	321,235
その他	42,110	40,801
貸倒引当金	△3,630	△2,430
流動資産合計	8,348,572	10,659,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,356,967	17,206,157
減価償却累計額	△14,508,504	△14,496,820
建物及び構築物(純額)	2,848,463	2,709,337
機械装置及び運搬具	307,575	283,950
減価償却累計額	△265,433	△237,724
機械装置及び運搬具(純額)	42,141	46,225
工具、器具及び備品	4,849,136	4,958,185
減価償却累計額	△4,316,121	△4,414,273
工具、器具及び備品(純額)	533,014	543,912
土地	6,080,942	6,068,882
リース資産	900,349	537,345
減価償却累計額	△827,236	△430,397
リース資産(純額)	73,112	106,948
建設仮勘定	24,934	6,864
有形固定資産合計	9,602,609	9,482,170
無形固定資産	530,560	588,891
投資その他の資産		
投資有価証券	182,826	185,860
長期貸付金	3,247	—
長期前払費用	69,424	54,580
繰延税金資産	471,668	345,743
敷金及び保証金	3,019,434	2,932,990
その他	27,500	27,443
貸倒引当金	△23,313	△23,313
投資その他の資産合計	3,750,788	3,523,305
固定資産合計	13,883,958	13,594,367
資産合計	22,232,531	24,253,904

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,083,926	1,120,355
短期借入金	1,734,000	1,934,000
1年内返済予定の長期借入金	1,574,815	1,645,057
リース債務	32,511	42,043
割賦未払金	303,807	360,271
未払金	356,025	399,232
設備関係未払金	49,642	64,277
未払費用	840,672	844,004
未払法人税等	317,844	199,107
未払消費税等	377,804	163,672
賞与引当金	155,300	134,000
資産除去債務	14,500	—
その他	463,251	412,612
流動負債合計	7,304,098	7,318,635
固定負債		
長期借入金	6,090,171	7,401,769
リース債務	117,892	141,498
長期割賦未払金	626,297	733,526
繰延税金負債	109,921	105,886
役員退職慰労引当金	155,397	168,365
退職給付に係る負債	413,266	392,632
資産除去債務	343,528	342,825
その他	235,472	221,500
固定負債合計	8,091,948	9,508,004
負債合計	15,396,047	16,826,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,790,461	3,790,461
資本剰余金	3,080,174	1,166,680
利益剰余金	△84,475	2,418,618
自己株式	△12,635	△13,269
株主資本合計	6,773,524	7,362,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,819	50,569
為替換算調整勘定	14,284	12,892
退職給付に係る調整累計額	854	1,311
その他の包括利益累計額合計	62,959	64,773
純資産合計	6,836,483	7,427,265
負債純資産合計	22,232,531	24,253,904

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	30,260,918	30,353,499
売上原価	11,476,959	11,431,234
売上総利益	18,783,959	18,922,264
販売費及び一般管理費	17,319,714	17,462,319
営業利益	1,464,244	1,459,945
営業外収益		
受取利息	1,918	3,274
受取配当金	3,023	3,764
受取地代家賃	48,576	52,586
為替差益	1,726	—
その他	42,092	29,032
営業外収益合計	97,337	88,657
営業外費用		
支払利息	123,553	143,246
賃貸収入原価	7,828	11,920
支払手数料	116,235	5,329
その他	6,808	14,228
営業外費用合計	254,425	174,725
経常利益	1,307,156	1,373,877
特別利益		
固定資産売却益	2,358	3,836
受取保険金	2,597	—
受取補償金	100,000	57,000
特別利益合計	104,955	60,836
特別損失		
固定資産売却損	—	128
固定資産除却損	8,274	27,577
減損損失	503,512	401,864
賃貸借契約解約損	32,811	14,601
特別損失合計	544,598	444,171
税金等調整前当期純利益	867,514	990,542
法人税、住民税及び事業税	286,467	279,566
法人税等調整額	△386,550	121,374
法人税等合計	△100,082	400,941
当期純利益	967,597	589,601
親会社株主に帰属する当期純利益	967,597	589,601

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	967,597	589,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,004	2,749
為替換算調整勘定	2,849	△1,392
退職給付に係る調整額	2,856	457
その他の包括利益合計	33,710	1,814
包括利益	1,001,308	591,415
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,001,308	591,415

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,182,385	2,472,098	△1,052,073	△10,349	4,592,061
当期変動額					
新株の発行	608,075	608,075			1,216,151
親会社株主に帰属する当期純利益			967,597		967,597
自己株式の取得				△2,285	△2,285
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	608,075	608,075	967,597	△2,285	2,181,463
当期末残高	3,790,461	3,080,174	△84,475	△12,635	6,773,524

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累 計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	19,815	11,434	△2,002	29,248	4,621,309
当期変動額					
新株の発行					1,216,151
親会社株主に帰属する当期純利益					967,597
自己株式の取得					△2,285
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	28,004	2,849	2,856	33,710	33,710
当期変動額合計	28,004	2,849	2,856	33,710	2,215,174
当期末残高	47,819	14,284	854	62,959	6,836,483

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,790,461	3,080,174	△84,475	△12,635	6,773,524
当期変動額					
欠損填補		△1,913,493	1,913,493		—
親会社株主に帰属する当期純利益			589,601		589,601
自己株式の取得				△633	△633
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△1,913,493	2,503,094	△633	588,967
当期末残高	3,790,461	1,166,680	2,418,618	△13,269	7,362,492

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累 計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	47,819	14,284	854	62,959	6,836,483
当期変動額					
欠損填補					—
親会社株主に帰属する当期純利益					589,601
自己株式の取得					△633
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,749	△1,392	457	1,814	1,814
当期変動額合計	2,749	△1,392	457	1,814	590,781
当期末残高	50,569	12,892	1,311	64,773	7,427,265

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	867,514	990,542
減価償却費	766,444	789,135
減損損失	503,512	401,864
のれん償却額	12,133	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,694	△1,200
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△900	△21,300
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13,027	12,967
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,117	△567
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△24,101	△19,946
受取利息及び受取配当金	△4,942	△7,038
支払利息	123,553	143,246
為替差損益 (△は益)	△1,726	89
固定資産売却損益 (△は益)	△2,358	△3,708
受取保険金	△2,597	—
受取補償金	△100,000	△57,000
固定資産除却損	8,274	27,577
賃貸借契約解約損	32,811	14,601
売上債権の増減額 (△は増加)	△158,601	86,710
棚卸資産の増減額 (△は増加)	370,507	△372,138
前渡金の増減額 (△は増加)	467	△1,384
仕入債務の増減額 (△は減少)	143,247	36,429
未払金の増減額 (△は減少)	44,654	53,407
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△69,646	△214,131
未払費用の増減額 (△は減少)	15,330	3,424
預り金の増減額 (△は減少)	43,333	△46,865
前受収益の増減額 (△は減少)	1,929	△4,149
その他	2,629	△27,500
小計	2,578,685	1,783,066
利息及び配当金の受取額	4,104	6,297
利息の支払額	△120,979	△144,007
保険金の受取額	2,597	—
補償金の受取額	100,000	57,000
店舗閉鎖に伴う支払額	△41,350	△17,007
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△31,626	△385,289
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,491,431	1,300,060

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	204,998
有形固定資産の取得による支出	△748,664	△496,892
有形固定資産の除却による支出	—	△2,900
有形固定資産の売却による収入	11,709	16,905
無形固定資産の取得による支出	△87,182	△125,143
敷金及び保証金の差入による支出	△4,580	△1,195
敷金及び保証金の回収による収入	122,316	78,606
預り保証金の返還による支出	△12,000	△12,500
預り保証金の受入による収入	16,500	1,500
貸付けによる支出	△4,500	△173
貸付金の回収による収入	7,057	6,129
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	37,732	31,919
投資活動によるキャッシュ・フロー	△661,611	△298,747
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,888,200	200,000
長期借入れによる収入	3,308,000	3,100,000
長期借入金の返済による支出	△1,583,714	△1,718,160
セール・アンド・割賦バックによる収入	8,199	—
割賦債務の返済による支出	△284,831	△318,276
リース債務の返済による支出	△37,844	△34,150
株式発行による収入	1,216,151	—
自己株式の取得による支出	△2,285	△633
財務活動によるキャッシュ・フロー	735,475	1,228,778
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,677	261
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,567,972	2,230,353
現金及び現金同等物の期首残高	2,391,775	4,959,748
現金及び現金同等物の期末残高	4,959,748	7,190,101

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(株式分割)

当社は、2025年3月18日開催の取締役会において、2025年10月1日を効力発生日とする株式分割を行うことを決議しました。

1 株式分割の目的

当社普通株式の投資単位あたりの金額を引き下げ、投資家が投資しやすい環境を整えることで、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図るものです。

2 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2025年9月30日(火曜日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	2,139,434株
今回の分割により増加する株式数	2,139,434株
株式分割後の発行済株式総数	4,278,868株
株式分割後の発行可能株式総数	8,000,000株(変更なし)

(3) 株式分割の日程

基準日公告日	2025年9月12日(金曜日)
基準日	2025年9月30日(火曜日)
効力発生日	2025年10月1日(水曜日)

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益	217.28円	127.66円

(5) 1株当たり情報に及ぼす影響

今回の株式分割に際して、資本金の額に変更はありません。

(セグメント情報等の注記)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはレストラン事業における焼肉レストランを主要事業として、ブランドごとの包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「安楽亭・七輪房業態」は、郊外型で開放的な空間での焼肉をリーズナブルな価格で提供している「安楽亭」と焼肉部門第二の核として「安楽亭」より客単価の高い設定で、個室を多く配置し、落ち着いた空間での食事を提供している「七輪房」を含んでおります。「アークミール」は「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フオルクス(ステーキ)」を含んでおります。「その他業態」は、「からくに屋(焼肉)」、「花炎亭(焼肉)」、「上海菜館(中華)」、「カフェビーンズ(喫茶)」、「安楽亭ベトナム(焼肉)」を含んでおります。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	12,170,158	17,587,976	502,782	30,260,918	30,260,918	—	30,260,918
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	12,170,158	17,587,976	502,782	30,260,918	30,260,918	—	30,260,918
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	325,773	1,573,298	△24,365	1,874,707	1,874,707	△410,462	1,464,244
セグメント資産	12,371,041	8,946,654	571,912	21,889,607	21,889,607	342,923	22,232,531
その他の項目							
減価償却費	360,894	323,821	29,858	714,574	714,574	51,870	766,444
のれん償却額	12,133	—	—	12,133	12,133	—	12,133
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	465,419	578,027	62,276	1,105,723	1,105,723	11,377	1,117,100

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額342,923千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額11,377千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	11,360,468	18,559,728	433,303	30,353,499	30,353,499	—	30,353,499
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,360,468	18,559,728	433,303	30,353,499	30,353,499	—	30,353,499
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	463,868	1,370,898	△3,038	1,831,728	1,831,728	△371,783	1,459,945
セグメント資産	13,580,466	9,653,663	703,994	23,938,125	23,938,125	315,779	24,253,904
その他の項目							
減価償却費	330,554	365,726	27,235	723,516	723,516	65,619	789,135
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	441,449	662,962	73,118	1,177,530	1,177,530	9,426	1,186,957

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額315,779千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額9,426千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	2,960.40円	3,216.36円
1株当たり当期純利益	434.56円	255.32円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	967,597	589,601
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	967,597	589,601
普通株式の期中平均株式数(株)	2,226,593	2,309,293

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2024年3月31日)	当連結会計年度末 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	6,836,483	7,427,265
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	6,836,483	7,427,265
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,309,308	2,309,217

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。